

# ◎環境の現状

～各種取組編～

## 1. 自然環境

可児市は、自然に恵まれ、歴史と文化に育まれた緑豊かな街である。北端には木曽川が流れ、南西部は濃尾平野の北限としてゆるやかな丘陵地が広がっている。中心部には可児川や久々利川が流れ、丘陵地や溜池などが多くある自然豊かな地域である。

山地は南西、南、東に存在し、市が三方面から包まれるような形になっている。西部には標高313.5mの鳩吹山があり豊かな植生を誇っており、平成18年には、鳩吹山のシデコブシ自生地を市の天然記念物に指定した。現在では市内外から年間数万人が訪れ、散策や眺望を楽しめる山となっている。

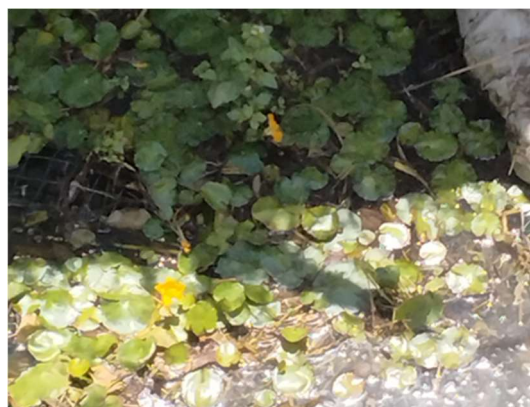
|             |                                                                                     |                                                                                                                                      |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市<br>の<br>木 |    | <p><b>クロマツ</b></p> <p>常緑高木で、樹皮が黒色の黒松は、市内の至るところに茂り、なじみの深い樹木で、一年を通して若々しい緑をつけるその様は、躍進する都市にふさわしいことから、昭和57年4月1日に市の木として制定された。</p>          |
| 市<br>の<br>花 |    | <p><b>サツキ</b></p> <p>心のやさしさ、美しさをはぐくむ花として、市民にも親しまれているサツキは、毎年5月中旬、市内のあちこちで白、ピンク、赤などやさしい色あいの花を咲かせる。市制施行を記念して、昭和57年4月1日に制定された。</p>       |
|             |  | <p><b>バラ</b></p> <p>「花フェスタ2005ぎふ」の開催に合わせて、「うるおいのある住みよいまち」を創造するシンボルとして、平成17年3月1日に制定された。<br/>平成20年に可児市のバラとして「かに乙女」(品種＝ファミリー)を選定した。</p> |

### (1) 希少植物の調査

市では、環境省や岐阜県が公表しているレッドリストを参考に、希少植物の生育状況やその取り巻く生育環境の調査を行っている。令和5年は3月から8月までの6か月にわたり、延べ39箇所 で26種類の希少植物の調査を行い、新たな場所でサクライソウ、アサザの生育を確認した。



サクライソウ



アサザ

また、開発工事において、開発区域内に希少動植物の生息地が確認されている場合は、希少動植物の生息地をできる限り保全するため、事業者に適切な調査の実施と保全を図るよう指示している。開発工事が進行している生息地では状況に応じて調査を行い、場合によっては専門家による助言を受けながら希少動植物の保全に努めている。

希少動物の生息地付近で、市が河川工事などを行う場合、保護や移植が必要なため、事業者と共同で調査を行っているが、令和5年度は対象となる工事がなかった。

## （２）特定外来生物

もともとその地域にいなかった生物で、人間の手で持ち込まれた生物を「外来生物」という。その中でも特に生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、また及ぼすおそれがあるものについて、平成17年6月に制定された「外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）」に基づき、「特定外来生物」として指定されている。特定外来生物は生きているものに限られ、個体だけでなく、卵、種子、器官なども含まれる。また、その飼育、栽培、保管、販売、譲渡、運搬、輸入などが禁止されている。

### 植物（特定外来生物）

市環境課では、平成22年に植物2種（オオキンケイギク、アレチウリ）について、令和4年度に期間を更新し、引き続き令和8年度末まで外来生物法に基づいた防除実施計画を策定し、環境省に防除の確認を受けている。計画では市全域からオオキンケイギクとアレチウリを完全排除することを長期的な目標としている。

当初の計画を策定した平成22年には、市内で広範囲に生息が確認されていたオオキンケイギクについて生息調査を行い、オオキンケイギクの防除を重点的に進めることとし、随時生息状況の情報収集を行っている。

平成25年度からは、自治会の協力を得てオオキンケイギクの防除を市全体で進めていくための態勢を整え、花いっぱい運動にあわせて防除を行っている。

令和5年度は、前年度に引き続き、岐阜県の森林環境税を活用した清流の国ぎふ森林環境基金事業を利用して委託業者による防除作業を実施し、市内のオオキンケイギク大規模群生地のうち16箇所（3,979㎡）にて防除を行った。また、ボランティア防除制度による団体もしくは個人が行う防除活動の啓発、支援を行った。以上の取り組みにより約1.2tの防除ができた。



オオキンケイギク



防除作業の様子

## 動物（特定外来生物）

### セアカゴケグモ

令和5年度は市内で11件の生息が確認された。もし自宅などで発見した場合は、直接触らないよう殺虫剤等で駆除することが望ましい。

セアカゴケグモのメスは毒を持っており、咬まれると激しい痛みや腫れ、多汗、寒気、嘔吐などの症状のほか、脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が現れることがあり、絶対に素手で触ってはいけない。セアカゴケグモの市内での発見状況は可児市環境課ホームページに掲載している。



セアカゴケグモ（メス）

（可児市ホームページ→市の組織→市民部→環境課→環境→環境保全→特定外来生物→セアカゴケグモ）

### アルゼンチンアリ

可児市内では、令和3年9月に瀬田、石井地内、令和4年7月には広見地内にてアルゼンチンアリの生息が確認されている。

アルゼンチンアリは、大きさが2.5～3ミリと小さく発見が困難である。毒は持っていないが、屋内に侵入し、台所の食べ物にたかるなど人に対して不快感を与えるほか、多女王制で繁殖力が旺盛であることから在来種のアリを駆逐してしまう。また、アブラムシやカイガラムシなどの農業害虫と共生関係にあり農作物へ被害を及ぼすため、防除が必要である。令和5年度は、4月に株式会社東海理化との間で「アルゼンチンアリの防除に関する連携協定書」を締結し、防除体制を整備した。また、5、7、9月には、生息区域の住民、事業者にはベイト剤（餌型薬剤）を無料配付し、地域での一斉設置を行った。4、5、10、11月には、行政と民間協働の合同調査、防除を実施した。6年度も引き続き防除を進めていく。



アルゼンチンアリ（環境省提供）



防除作業の様子



### (3) 天然記念物（植物の自生地）

市内にある植物の自生地が、天然記念物として指定されている。国指定の植物が1種類、市指定の植物が5種類天然記念物となっている。市内では特に久々利に多くの天然記念物が生息している。

| サクラインソウ                                                                             |              | ミカワバイケイソウ                                        |                                                                                      |             |       |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | 指定           | 国                                                |    | 指定          | 市     |
|                                                                                     | 生息地          | 久々利                                              |                                                                                      | 生息地         | 柿下    |
|                                                                                     | 科名           | ユリ科                                              |                                                                                      | 科名          | ユリ科   |
|                                                                                     | 絶滅危惧ⅠB類(環境省) |                                                  |                                                                                      | 絶滅危惧Ⅱ類(環境省) |       |
|                                                                                     | 絶滅危惧Ⅰ類(岐阜県)  |                                                  |                                                                                      | 絶滅危惧Ⅱ類(岐阜県) |       |
|                                                                                     |              | 氷河時代の生き残り植物で、高さは1mほど。花期は5月中旬。                    |                                                                                      |             |       |
| イワオモダカ                                                                              |              | シデコブシ                                            |                                                                                      |             |       |
|   | 指定           | 市                                                |    | 指定          | 市     |
|                                                                                     | 生息地          | 久々利                                              |                                                                                      | 生息地         | 土田    |
|                                                                                     | 科名           | ウラボシ科                                            |                                                                                      | 科名          | モクレン科 |
|                                                                                     | —            |                                                  |                                                                                      | 準絶滅危惧種(環境省) |       |
|                                                                                     | 絶滅危惧Ⅱ類(岐阜県)  |                                                  |                                                                                      | 絶滅危惧Ⅱ類(岐阜県) |       |
|                                                                                     |              | 日当たりの良い湿地に生息する落葉低木～小高木。花期は4～5月。                  |                                                                                      |             |       |
| ヒトツバタゴ                                                                              |              | ハナノキ                                             |                                                                                      |             |       |
|  | 指定           | 市                                                |  | 指定          | 市     |
|                                                                                     | 生息地          | 久々利                                              |                                                                                      | 生息地         | 久々利   |
|                                                                                     | 科名           | モクセイ科                                            |                                                                                      | 科名          | カエデ科  |
|                                                                                     | 絶滅危惧Ⅱ類(環境省)  |                                                  |                                                                                      | 絶滅危惧Ⅱ類(環境省) |       |
|                                                                                     | 絶滅危惧Ⅱ類(岐阜県)  |                                                  |                                                                                      | 絶滅危惧Ⅱ類(岐阜県) |       |
|                                                                                     |              | 湿地に自生する、雌雄異株の落葉木。4月の始めに葉に先立って紅色の小さな花が数個ずつ集まって咲く。 |                                                                                      |             |       |

※環境省の分類はレッドリストによる。

※岐阜県の分類はレッドデータブックによる。

## 2. 環境パートナーシップ・可児

可児市環境基本計画の推進を担う取り組みの主体として、市民、事業者、行政が、自らの考えや主体間との関係性を高めながら、実行と進行管理を適切に行っていける仕組みとして平成25年4月に発足した。可児市の環境を知り、改善のための提案をし、可児市の良さを内外に知らせることを目的にしている。令和5年度には以下の活動を行った。

### 可児市気温一斉観測 100×100

市民自らが温度計を持ち、住んでいる場所100ヶ所の気温を100年間測ることで、気温変化に関心を持ってほしいという狙いのもと、平成24年度から実施しており、令和5年度は7月29日の正午と午後10時の気温観測を実施した。観測者61名が参加したほか、連続観測温度計も41ヶ所に設置して、102ヶ所を観測した。観測の結果、市街地と緑地で0.4～1.2℃の気温差が見られたが、これはヒートアイランド現象によるものだと考えられる。



観測点に設置された連続観測温度計

### 可児市里山の日

平成24年度から、毎年11月23日を「可児市里山の日」とし、里山を会場に里山の魅力や大切さ、里山団体の活動などを発表する場としてイベントを行っている。令和5年度は我田の森（久々利）で開催した。



令和5年度開催時の様子

### 第23回可児市環境フェスタ

可児市環境基本計画の具体化のため、「環境パートナーシップ・可児」で実行委員会を組織し「可児市環境フェスタ」を開催している。令和5年度は、2月18日、5年ぶりに広見地区センターで終日開催した。「ストップ地球温暖化！～繋げよう、地球を救う優しい気持ち～」をテーマに開催し、約1,000名が参加した。参加団体の取り組み紹介や体験ブースのほか、地球温暖化と食に関するセミナーやリサイクル自転車抽選会、小学校による学習動画発表などを実施した。第19回から行っているフードドライブでは、お菓子や缶詰、インスタント食品などが寄せられた。

また、2月9日～2月22日の期間で、広見地区センターにて、環境に関するポスターや川柳作品の展示を行い、地区センターに訪れた方を中心に観覧していただき、環境について啓発を行った。



### 3. 環境まちづくり

#### カワゲラウォッチング&一斉水質調査

可児市めだかの楽校（環境市民活動団体）と環境パートナーシップ・可児の共催で、カワゲラウォッチングと市内7ヶ所の一斉水質調査を毎年開催している。身近な川に棲むカワゲラなど水生生物の調査を行い、河川の水質を判定することで、川の様子を知り水質保全の必要性を認識する取り組みとなっている。令和5年度は8月5日に開催し、親子10組25名が参加した。



水質調査の様子



### 環境楽習塾

平成26年度から里山を使った環境教育ができる人材を育成し、良好な環境を次世代につなぐことを目的として、里山案内人講座を開催、令和元年度からは環境楽習塾に名称を変更して開催している。令和5年度は、里山での活動や、森林総合教育センターの施設見学など、それぞれにテーマを設定し、全5回45名が参加した。



第1回「薬王寺で里山体験をしよう」の様子

### 出前講座

小中学校や市民の環境学習を支援するため、要請のあった団体へ、ごみ・リサイクル、地球温暖化、川の水質や生物などをテーマに講師派遣を行っている。また、市職員の派遣だけでなく、環境市民活動団体や環境に関する活動を行う事業者にも講師として協力いただき、令和5年度は全21回の出前講座を行った。



出前講座の様子

### 可児川流域連携

可児市、瑞浪市と御嵩町、並びにその地域で活動する事業者および市民団体などと「松野湖と可児川を美しくする会」を組織し、水質浄化の啓発と水源である松野湖の清掃活動「松野湖クリーン作戦」を実施している。

令和5年度は、11月19日に清掃を行い、合計97名の参加があり、可燃ごみ約320kg、不燃ごみ約110kgを回収した。

### 啓発活動

6月の環境月間にあわせて、パネル展を実施している。令和5年度は、地球温暖化と私たちの暮らしをテーマに、市役所、帷子地区センター、図書館本館にて、カーボンニュートラルや脱炭素、地球温暖化対策のための取組みなどに関する展示を行った。



## 可児市再生可能エネルギー戦略

東日本大震災をきっかけに、我が国のエネルギーに対する考え方が大きく変わり、地域分散電源の必要性が改めて認識された。地域分散電源にひとつとして挙げられる再生可能エネルギーについて、市は環境への配慮や災害における危機対応能力の向上、さらには地域経済の活性化の方策の一つとして当戦略を策定し、再生可能エネルギーのより一層の普及を図ることになった。この戦略の中で、本市においては太陽光発電と廃棄物系のバイオマス発電の利用可能性が高いことがわかり、その結果を踏まえ、以下の3つの基本姿勢を持って進めている。

- ①地域の特性に応じたエネルギーを利用する
- ②地域の民間活力を主体とした産学官の連携を進める
- ③再製可能エネルギーを核とした新たな地域活性化への展開を図る

## 可児市ゼロカーボンシティ宣言・ゼロカーボンシティ推進計画

令和4年7月、2050年までに二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「可児市ゼロカーボンシティ宣言」を行った。

カーボンニュートラル実現のためには、これまで以上に市民・事業者・行政が連携し、地球温暖化対策に取り組む必要があることから、令和5年7月、脱炭素に取り組むロードマップを示した「可児市ゼロカーボンシティ推進計画」を策定した。

### ロードマップに掲げる削減対策

- ①再生可能エネルギー導入の推進
- ②循環型社会の形成
- ③行動変容の促進
- ④二酸化炭素吸収源の確保

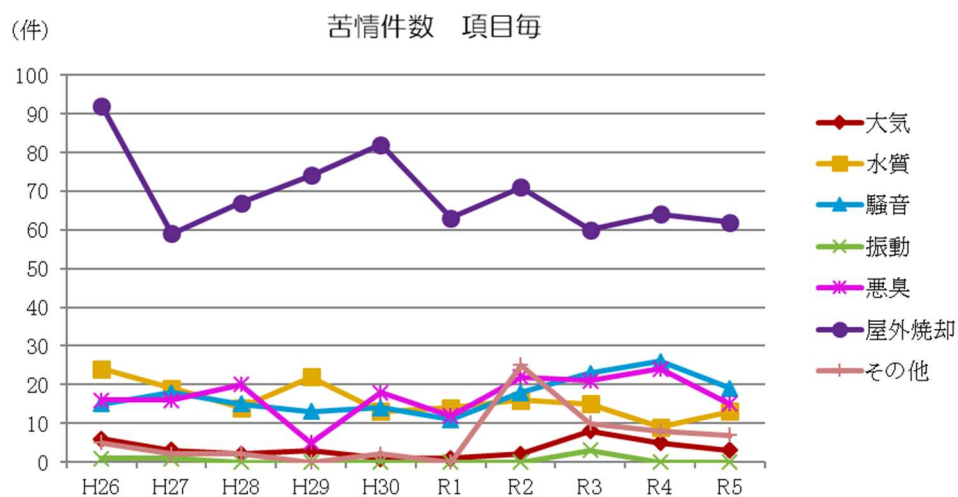
可児市においては、脱炭素社会実現のため、二酸化炭素排出量削減の目標達成に向けた取り組みを、可児市の成長や新たな魅力の創造の機会捉え、市民・事業者の意識変革も促し、「可児市GX」と定義して、市民・事業者他自治体と連携して二酸化炭素排出量削減に取り組み方針とする。

## 4. 公害苦情

### 公害苦情処理件数の推移

令和5年度に市に寄せられた苦情件数は119件で、令和4年度よりやや減少している。苦情を内容別にみると、屋外焼却に関する苦情が最も多く、公害苦情件数の過半数を占めている。

公害苦情処理件数の推移



各公害苦情の主な内容は以下の通りである。

大気：車両の移動による砂埃に対する苦情など。

水質：交通事故による車両や工場からの油漏れ、側溝への油流出、川の濁りへの苦情など。

騒音：建設作業に伴う重機の音、工場の機械から発生する作動音に対する苦情など。

振動：建築作業に伴う重機の振動、工場の機械から発生する振動に対する苦情など。

悪臭：道路側溝からの悪臭、工場の煙の臭いに対する苦情など。

屋外焼却：煙が家の中に入ってくる、洗濯物に煙の臭いがつくことに対する苦情など。

## 公害防止協定について

可児市においては、市と公害を発生させるおそれのある事業活動を行う事業者が事業活動に伴い発生する公害等を防止するため、事業者のとるべき措置を相互の合意形成により公害防止協定を締結している。この協定に基づいて、取り組み結果を定期的に市へ報告してもらっている。

公害防止協定締結事業所一覧（令和6年3月31日現在）

|    | 企業名                  | 協定締結日     | 業種             |
|----|----------------------|-----------|----------------|
| 1  | 愛知株式会社               | S63.3.28  | 家具装備           |
| 2  | 株式会社安桜 可児工場          | S63.3.28  | 金属製品           |
| 3  | 旭千代田工業株式会社 岐阜工場      | S63.3.28  | 金属製品           |
| 4  | 株式会社アルミックイマイ         | S51.4.14  | 建築材料           |
| 5  | 今井航空機器工業株式会社 可児工場    | H10.3.2   | 航空機部品の加工組立     |
| 6  | イワキ工業株式会社 可児工場       | S57.6.29  | 輸送用機械器具        |
| 7  | エリエールテクセル株式会社        | R2.2.18   | 紙加工業           |
| 8  | 株式会社エーワンパッケージ        | H13.12.27 | 段ボール製造         |
| 9  | オークマ株式会社 可児工場        | H10.3.2   | 工作機械製造         |
| 10 | オークマスチールテクノ株式会社      | H16.8.23  | 工作機械製造         |
| 11 | 株式会社片山製作所 本社工場       | S63.3.28  | 一般機械器具         |
| 12 | 株式会社加藤製作所            | S57.6.29  | 金属製品           |
| 13 | 株式会社可児LIXILサンウエーブ製作所 | S52.2.17  | 家具装備           |
| 14 | 協同組合岐阜県可児工業団地管理センター  | S49.12.26 | 事務所、排水処理場      |
| 15 | 岐阜・大成化工株式会社 岐阜工場     | S57.6.29  | プラスチック製品       |
| 16 | 共栄鋼材株式会社 可児工場        | H12.12.15 | 鋼材加工販売         |
| 17 | 共栄ファスナー株式会社 可児工場     | H15.3.31  | 金属材料           |
| 18 | 株式会社協和製作所            | S57.6.29  | 一般機械器具         |
| 19 | KYB株式会社 岐阜北工場        | S58.6.2   | 輸送用機械器具        |
| 20 | KYB株式会社 岐阜東工場        | H25.12.11 | 輸送用機械器具        |
| 21 | KYB株式会社 岐阜南工場        | S58.6.2   | 輸送用機械器具        |
| 22 | 高周波熱錬株式会社 可児工場       | S51.1.26  | 高周波熱錬技術による機械加工 |
| 23 | サクラテック株式会社           | S51.1.26  | 鉄鋼             |
| 24 | シンクレイヤ株式会社 可児工場      | S52.2.17  | 電気機械器具         |
| 25 | 株式会社スタールカケフ          | H10.3.2   | 鋼材加工製品販売       |
| 26 | 星菱電機株式会社             | S57.6.29  | 電気機械器具         |
| 27 | 大王製紙株式会社 可児工場        | S49.3.6   | 紙パルプ           |
| 28 | 株式会社ダイセキ環境ソリューション    | H29.11.1  | 汚染土壌処理         |
| 29 | 株式会社ダイニチ             | H10.3.2   | 穴加工技術          |
| 30 | 太平ハウジング株式会社          | H17.6.23  | パネル製造販売        |
| 31 | 中部静電塗装株式会社           | S52.2.17  | 金属製品           |
| 32 | TPR株式会社 岐阜工場         | S51.1.26  | 一般機械器具         |
| 33 | 株式会社デンソーワイズテック       | H13.12.27 | 一般機械器具         |
| 34 | 株式会社常盤電機             | S51.4.14  | 一般機械器具         |
| 35 | 徳田工業株式会社             | S55.11.14 | 工業用模型          |
| 36 | 鳥羽工産株式会社             | S52.2.17  | 一般機械器具         |
| 37 | 中川産業株式会社             | S63.3.28  | 断熱材製造          |
| 38 | 株式会社ナ・デックスプロダクツ      | S52.12.12 | 電気機械器具         |
| 39 | 株式会社日新琉瑯製作所          | S51.1.26  | 金属製品           |
| 40 | 日進油圧工業株式会社           | H14.3.1   | 一般機械器具         |
| 41 | ニッタイ工業株式会社 岐阜工場      | S57.6.29  | 窯業(タイル)        |
| 42 | 株式会社日特スパークテックWKS     | H26.4.1   | 電気機械器具製造       |
| 43 | 日本金属株式会社岐阜工場         | S51.1.26  | 金属製品           |
| 44 | 株式会社日比野鉄工所           | S51.4.14  | 輸送用機械器具        |
| 45 | 富士物流株式会社             | S63.3.28  | 配送             |
| 46 | 扶桑精工株式会社             | S51.1.26  | 一般機械器具         |
| 47 | 株式会社文晶堂              | H10.3.2   | プラスチック製品の金型設計  |
| 48 | 北斗総業株式会社 可児工場        | H10.3.2   | 機器用電子部品        |
| 49 | 水野鉄工株式会社 可児工場        | S51.4.14  | 一般機械器具         |
| 50 | 三菱電機株式会社名古屋製作所 可児工場  | S52.12.12 | 電気機械器具         |
| 51 | ミニター株式会社             | H13.1.30  | 機械工具製造         |
| 52 | 美濃東久株式会社             | H11.8.5   | 自動車部品製造        |
| 53 | 株式会社ムーカケフ            | S51.4.14  | 鉄鋼             |
| 54 | ユタカ工業株式会社 岐阜工場       | H14.3.1   | 自動車部品切削・研削加工   |
| 55 | リンナイ精機株式会社 可児工場      | S55.11.14 | 金属製品           |

（五十音順）